

すくらおろち通信

島根県雲南市と奥出雲町にまたがる、尾原ダム・さくらおろち湖周辺の地域の自然とそこに暮らす人の営みを元気なものにしていくNPOの情報発信紙です。

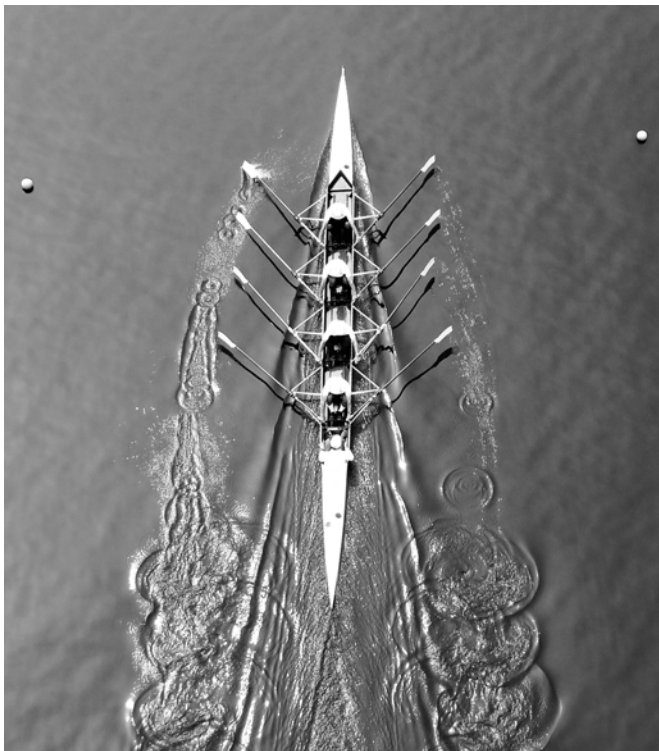
第49号

マスターズレガッタ、山の湖の賑い

5月16日・17日の2日間、1000メートルの公認ポイントスを持つさくらおろち湖でボート競技の全国大会が行われました。第8回全日本マスターズレガッタで、参加資格は28歳以上、平均年齢80歳以上のカテゴリーもありました。



▲小雨が霧のようで、美しかった、競技を待つカラフルなボートの列。



▲スサノオ大橋から撮影した4人で漕ぐスカル競技「舵手付きクオドルプル」です。漕ぎ手1人がシングルスカル、2人がダブルスカル。16日の天候は朝のうち小雨が降り、手がかじかむほど寒かったのが、午後からはみるみる晴れ間が広がり、暑いくらいになりました。湖面に描かれる水の波が美しく広がっていくのを、声援とともに眺め楽しむことができました。

公益社団法人日本ボート協会の主催で、さくらおろち湖に全国各地から11団体、1174選手がエントリー。前日には三刀屋で1200人以上が参加した歓迎会もありました。地元の旅館やホテルにもたくさんの宿泊があったようです。

「みぎわの館に泊まりましたけど、本当によくしていたでよかったですよ」という女性チームの声も聞きました。地元の老夫婦からは「若い人がこげないにこれーとにぎやかでいいね」と。ほんとよかったです。

6月の一冊

「たったひとりのオリンピック」
『スローカーブを、もう一球』
山際淳司著・角川文庫所収

レガッタにちなむ短いノンフィクションのご紹介。大学生活を麻雀に明け暮れる中、オリンピックに出ようと、ある日突然思い立った津田真夫のストーリー、「たったひとりのオリンピック」です。

「使い古しの、すっかり薄く丸くなってしまった石鹸を見て、ちょっと待ってくれという気分になってみたりすることが、多分、だれにでもあるはずだ」……摩耗していく石鹸がまるで自分のようなじゃないかという地点から、その流れに抗おうとする人間は、つねにクールであることを求められるのでしょうか。波にのめられないためにも。スポーツの観方を深めてくれるお勧めの短編です。

たです。施設が大きいだけに、賑いあってこそですよ。会場で地元の感想を聞くと、「湖も山もびっくりするほど美しかった」「食べ物なんでもおいしい」と返ってきたのが課題にすべきことも多々。なかでも「道がわかりにくくて迷う。標識や目印が少なく、ナビが古いと案内してくれない」という声は耳が痛かったです。そうなんです。標識などもそうですが、案内が足りないんだろーとは常々感じるところ。そこで……さくらおろちでは、まず、わかりやすく、楽しく、正確な案内地図を、今年こそつくるぞーと計画しています。アイデアや意見などいただければ幸いです。

NPO法人 さくらおろち 総会開かる

5月12日、温泉高齢者活動促進施設の研修室にてNPO法人さくらおろちは通常総会を開催し、平成26年度の事業報告と決算報告、会計監査報告、今年度の事業計画案と予算案が承認されました。

決算書や予算書などはウェブの日本財団のcanpan等で公開しております。

今年度の主な事業を羅列では

ありますが、左から記載します。

- さくらおろち湖スポーツ競技施設管理……自転車とボート競技の施設の管理受託。
- みーもの森づくり事業……自然景観と環境の保全整備。
- 里山ボランティア……上下流交流と拠点活用をかねた体験型水源地域環境教育事業。
- 小人(小学生)向け水源地域環境教育事業……尾原ダムや湖、森、農地での体験・見学・写生会による環境教育。
- さくらおろちの食べごと塾……さくらおろち湖周辺地域を体験の様子。松江市出雲市から多くの参加者があります。



名実ともに「食の宝庫」として盛り上げていくための、地域資源を再発見し発展させていく食の交流事業。

- 奥出雲まるごと体験……移住希望者受け入れのステップとなる一泊以上の体験プログラム。
- 竹と山の学校……竹林整備と利活用の研修・セミナーを、都市部と山村部の交流をまじえて実施する環境保全教育事業。
- 斐伊川流域の食の祭典……しまね社会貢献基金による事業。
- 尾原農村公園管理……指定管理業務
- さくらおろち湖祭り……今年度は10月18日の日曜日に開催されるのが決まっています。

※他にもさまざまな上下流交流事業、環境保全事業等を展開し、斐伊川流域の流域圏交流と情報の発信を通して、元気な地域づくりに邁進してまいります。

6月の主な 行事案内

▼6月7日(日)・中国地域高等学校対抗自転車競技選手権大会
兼中国地域自転車道路競走大会

…於さくらおろち湖自転車競技コース/主催…島根県自転車競技連盟・高体連

※補足情報……今年の6月～来年の3月まで、さくらおろち湖ボートコースはコース改修のため原則として使用できません。

▼奥出雲山村塾・竹山開拓・竹紙づくり……6月から竹伐りをはじめます。紙をつくる・畑をつくる・チップを活用する、などメニューは様々。日時場所などはお問い合わせください。

※最新情報は「さくらおろち湖周辺を100%楽しむサイト」にて鋭意更新してまいります!

会員の募集

私たち「NPO法人さくらおろち」は、尾原ダム周辺の自然環境や伝統文化や施設といった地域資源を活かし、様々なイベ

ントや地域活動に取り組んでいます。そして、斐伊川水系の上流域を拠点とする団体として、流域圏における交流と絆づくりを進めているところです。当法人の活動にご賛同いただき活動を支援していただける会員を募集しています。



▲竹紙づくりで。これ、竹の繊維です。

正会員▽当法人の総会において議決権を持ちます/入会金1000円・年会費2000円。

賛助会員▽活動を財政面から支えてくださる会員です/入会金1000円・年会費1000円。

▼NPO法人さくらおろち事務局までお問い合わせください▼

〒699-1134 雲南市木次町平田779-11 ☎0855-448-0729